

袋小路 (1966)

CUL-DE-SAC

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 イギリス
色彩 B&W
時間 112分
初公開日 1971/03/13
公開情報 A T G
リバイバル 1998/06 [キネティック]

【解説】

ポランスキーの長篇三作目はいよいよ神経病めいて、この作家は本性を露にしている。満潮時には外界と遮断される孤島の古城に若く美しい妻（ドルレアック）と住む初老男（プレザンス。不気味に好演）。この閉ざされた世界で理想の暮らしを営もうというわけだが、そこへ見るからに凶悪そうな面相の何やらしでかして逃亡中の男（スタンダー）が瀕死の相棒を連れて闖入。この浪蕪者にしたい放題されてただ黙っている主人に女房の方はとっくに愛想を尽かしており、島に遊びに来た一家の青年と密かに通じている。悪漢は意外と素朴な所もあって、妻と泥酔したりするクセに手を出しはしない。けれども、彼女は夫に彼を殺させ、半狂乱の夫を置いて島を出て行ってしまふのだ。現代人のナントカと説明をするのも空しい。この歪んだ人間把握は全くポランスキー独自のものだ。モノクロの映像美が秀逸。

【クレジット】

| | | |
|----|----------------|-------------------------------|
| 監督 | ロマン・ポランスキー | Roman Polanski |
| 脚本 | ロマン・ポランスキー | Roman Polanski |
| | ジェラルド・ブラッシュ | Gerard Brach |
| 撮影 | ギル・テイラー | Gil Taylor |
| 音楽 | クリストファー・コメダ | Christopher (Krzystof) Komeda |
| 出演 | ドナルド・プレザンス | Donald Pleasence |
| | フランソワーズ・ドルレアック | Francoise Dorleac |
| | ライオネル・スタンダー | Lionel Stander |
| | ジャクリーン・ビセット | Jacqueline Bisset |
| | ジャック・マッゴーラン | Jack MacGowran |